

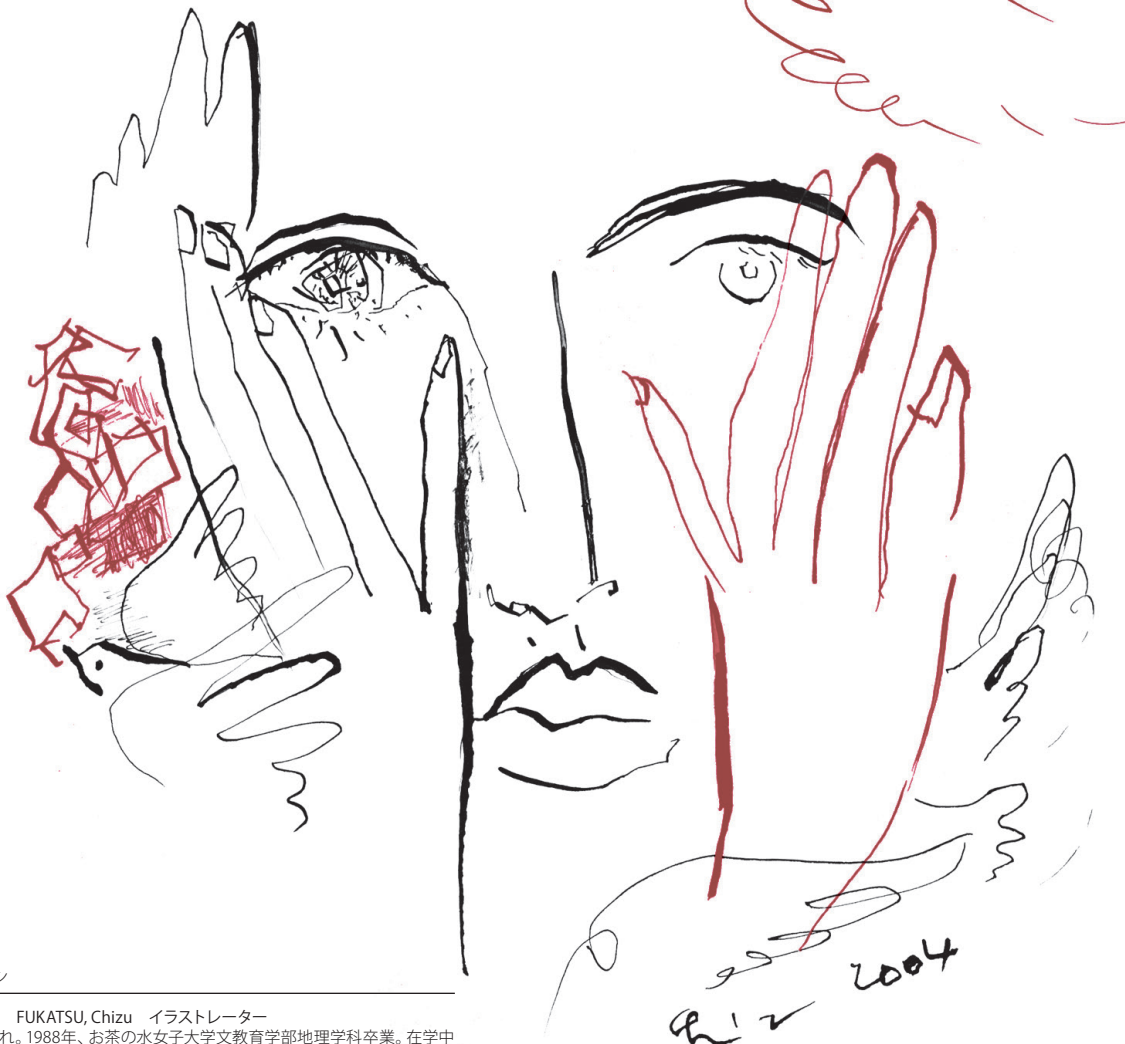
ellipse

[エリプス]

TOPICS

お茶の水女子大学の教育・研究プロジェクト ECCELLと「子ども学シンポジウム」

楕円(ellipse)には焦点がふたつあります。男性中心の社会から、女性と男性がそれぞれに中心(焦点)となる社会を目指すという思いを込めて、誌名を「エリプス」と名づけました。



ワ・タ・シ

深津千鶴 FUKATSU, Chizu イラストレーター
東京生まれ。1988年、お茶の水女子大学文教育学部地理学科卒業。在学中に、『週刊朝日』誌上にて「山藤章二の似顔絵塾」特待生となる。広告代理店勤務を経て、1990年より作家活動を開始。書籍装画、CDジャケットなど多く手がける一方、エッセイ執筆、壁画制作などの活動を展開している。



特定非営利活動法人
お茶の水学術事業会

REPORT

事業報告 (共催講演会)
「ものづくりに活かす女性の力」
(講師 藪 ゆき子 氏)

事業報告 (共催講演会)
「女性のしなやかさで、未来をつくる
～ふるさと岡山・倉敷が育んだ子連れスタイル～」
(講師 光畑 由佳 氏)

夢のつばさ♥プロジェクトニュース

INFORMATION

お茶の水女子大学イベント情報
事務局よりお知らせ

お茶の水女子大学の教育・研究プロジェクト ECCELLと「子ども学シンポジウム」



お茶の水女子大学は、「学ぶ意欲のあるすべての女性にとって、真摯な夢の実現される場として存在する」を標語として掲げ、教育と研究の成果を社会に還元していくことを目指し、教育、研究、キャリア開発に関連する多数のプロジェクトを推進しています。

今回はその中から ECCELL「乳幼児教育を基盤とした生涯学習モデルの構築」(プロジェクトリーダー: 浜口順子 人間文化創成科学研究科・人間発達科学専攻教授、保育学・保育人間学) を紹介します。

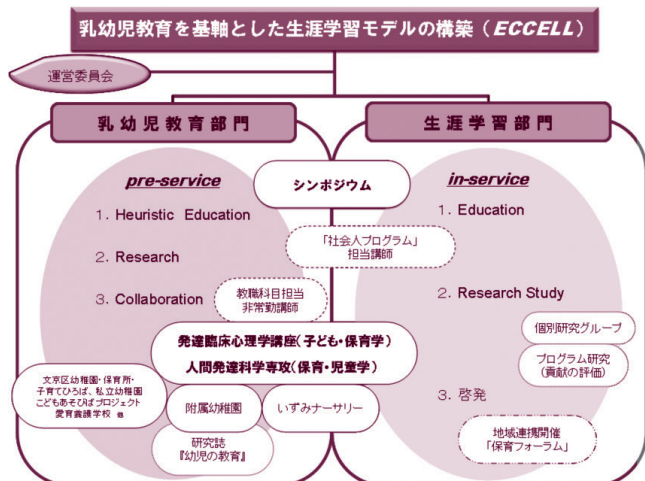
ECCELL「乳幼児教育を基盤とした生涯学習モデルの構築」とは

「乳幼児教育を基盤とした生涯学習モデルの構築」は、平成 22～27 年度の 6 ヶ年計画で推進される文部科学省特別経費による教育研究プロジェクトで、「Early Childhood Care / Education and Lifelong Learning (乳幼児教育と生涯学習)」から通称 ECCELL (エクセル) と呼ばれています。

明治 9 (1876) 年 11 月に日本初の官立幼稚園として東京女子師範学校附属幼稚園 (現: お茶の水女子大学附属幼稚園) が開設され、子ども学の先駆的存在となったお茶の水女子大学には、現在、乳幼児教育の 3 つのリソースがあります。

- ① 大学院・学部における「保育・児童学」の教育
- ② 生活科学部特別設置科目における現職保育者を主とする社会人プログラム (学び続ける場)
- ③ 附属幼稚園・附属ナーサリーにおける乳幼児の保育・教育

ECCELL は、この 3 つのリソースを総合的に組み合わせ、乳幼児、学生、社会人が共に学び、自らの成長を探究する場を創造することを目指すものです。「乳幼児教育部門」と「生涯学習部門」の 2 部門からなり、様々な立場の人々が、語り合い、



関わり合いながら、新しい子ども観・保育観を発見していくための教育カリキュラムを企画・実行しています (図)。

HP: <http://www.cf.ocha.ac.jp/nyuyoji/>

第 8 回 ECCELL 子ども学シンポジウム 鼎談「子ども・戦争・歴史」

【パネラー】 本田和子 氏 (お茶の水女子大学元学長)
宮澤康人 氏 (東京大学名誉教授)
山本秀行 氏 (こども教育宝仙大学学長)

【司会】 小玉亮子 (お茶の水女子大学教授、子ども社会学・教育学)

【開催日】 平成 26 年 11 月 21 日 (金)

「子ども学シンポジウム」は、現代社会における「子ども」の状況を多面的に見つめ、「何が問題なのか」「何ができるのか」を参加者と共に考えることを目的として、ECCELL が平成 23 年から継続的に開催しているものです。

これまでの「子ども学シンポジウム」

開催年月日	テーマ
H23 年 3 月 13 日	「子育て力の危機と創生」 ～エンパワメントの視点から～*
H23 年 11 月 19 日	「今、子どもが育つ環境を考える I」 ～『ナージャの村』本橋監督をお迎えして～
H23 年 12 月 18 日	「今、子どもが育つ環境を考える II」 ～現代の保育制度変革の中で起こっていること～
H24 年 2 月 11 日	「今、子どもが育つ環境を考える III」 ～福島発、子どもたちの現在～
H24 年 6 月 23 日	「絵本の挿絵について」
H24 年 10 月 13 日	「これからを生きる子どもたちへ」 ～津守眞氏からのメッセージ～
H24 年 12 月 8 日	「実践を通して表現の源を考える」

* 第 1 回は、「ECCELL 主催 公開シンポジウム」として開催

その第 8 回目は、「子ども・戦争・歴史」と題して、「歴史」の中で必ずしも主人公ではなかった「子ども」について、「戦争」をキーワードとして、「どういった視点から議論できるのか」「今、私たちは何を考えることを求められるのか」というテーマで、3人の先生方のお話をお聞きました。

本田先生は、14歳の時に太平洋戦争が終戦するまでの体験を3つのポイントから語ってくださいました。

まず「大変強く印象づけられたこと」として、男の子と女の子では戦争に対する心の構えが違っていたことを挙げられ、作文の文章、折々の会話や遊びの中で、男の子が戦争をとて身近なものとして捉えていることに驚いたという話をされました。次に「学校の中で変わったこと」として、国民学校で毎日繰り返された「分列行進」を取り上げ、「疑問を持たずに命令に従うという行動パターンを身体に覚えさせる」ことが、その目的ではなかったかと振り返られました。そして3つ目に「学校以外で影響を受けたもの」として、軍歌、戦争歌謡のフレーズやラジオの戦況報告をすらすらとそらんじながら、もの悲しく美しい旋律と文語調の言葉の響きが醸し出す雰囲気によって、子どもの中で戦争が美化、聖戦化され、「小国民」「軍国少女」ができあがっていったという側面について話してくださいました。



続いて宮澤先生は、12歳までを戦時下で過ごした男の子の立場から、当時の子どもにとって強い軍人になれるか否かが重要な価値基準であったこと、「特攻隊」に対して怖さとともに崇高なものに高揚するような不思議な感覚を覚えたことなどを話してくださいました。

さらに周りの人間との関係性という観点から、「往復ビンタ」「連帯責任」といった言葉を挙げて、先生・憲兵隊・親などの大人（たて・ななめ）の権威が圧倒的に強い状況下で、子ども



は抑圧されていたこと、その一方で、軍歌の替え歌、勅語を言い換えた冗談をこっそり楽しみ、大人への告げ口をもっとも軽蔑するなど、子ども同士の間に一

種の強い連帯感のようなもの（よこのつながり）が自然と芽生えていたことを述べられました。



終戦直前の昭和20（1945）年7月に生まれた山本先生は、ご自身の体験から、戦争経験は、戦争の影響が色濃く残る中で幼少期を過ごした世代にも及ぶものだと指摘され、1930年～1945年生まれを「戦争児童世代」と位置づけられました。

また、戦争と子どもを考える手がかりとして、映画『戦場の小さな天使たち』（1987年、イギリス）に見る大人と子どもの視点の違いを紹介され、歴史の中の子どもを考えていく上では、子どもを異文化として捉えなおすことも必要ではないかと仰いました。さらに日本とドイツの子どもの比較、戦争がもたらした父親の不在と多数の戦争孤児の問題といった点にも言及されました。



鼎談の後半では、当時の子どもにとっての天皇（御真影）、近年続々と出版されている戦争児童世代の自伝、アメリカと日本の子どもの違いなどにも触れながらお話が弾み、最後に本田先生が、「ここに出てきたテーマを一つ一つ丁寧に掘り下げることで、もしかしたら人間の何かが見えてくるかもしれません。皆さんも一つか二つ、小さなテーマを見つけ、簡単に結論を得ようとなさらないで、掘り下げてくださると、少し新しいものが見えてくるかもしれません。」と、参加者にバトンを渡し、閉会となりました。

お三方のお話しからは、当時の子どもが、置かれた環境や大人の権威を受け入れざるを得なかった一方で、独自の世界観を持っていたこと、時として冷静ともいえる目で大人を見ていたことが感じられました。「子どものために戦争をやめましょう」という予定調和に終始するのではなく、これから「子ども・戦争・歴史」を考えていくための新たな視点がいくつも示され、非常に有意義なひと時でした。

編集協力：写真提供：ECCELL
（文責：お茶の水学術事業会 加納由美）

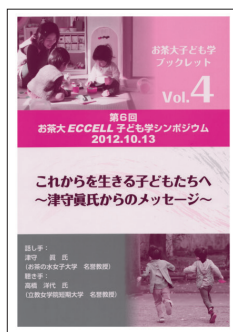
本のご紹介 お問合せは ECCELL 事務局：nyuyoji-info@cc.ocha.ac.jp へ

お茶大子ども学ブックレット Vol.4 (2014年9月30日発行)
「第6回お茶大 ECCELL 子ども学シンポジウム (2012.10.13)」
これから生きる子どもたちへ
～津守眞氏からのメッセージ～

話し手：津守眞氏（お茶の水女子大学
名誉教授）

聴き手：高橋洋代氏（立教女学院短期
大学名誉教授）

定価：500円（ECCELLのセミナーやシ
ンポジウムで販売しております）



『幼児の教育』（季刊）（日本幼稚園協会／編、フレーベル館）
明治34（1901）年創刊の保育研究誌。
表紙の図柄はお茶の水女子大学附属幼
稚園内にあるステンドグラスの様を
デザイン化したものです。

※ 定期購読のお申込みを付けています。

※ 100年分以上にわたるバックナンバーは
大学附属図書館「お茶の水女子大学教育・
研究成果コレクション "TeaPot"」(<http://teapot.lib.ocha.ac.jp/ocha/>)で閲覧できます。



事業報告 (共催講演会)

桜蔭会長野支部 「ものづくりに活かす女性の力」

講師 藪 ゆき子 氏

ダスキン (株) 取締役、暮らしマーケティングラボ代表、
元パナソニック (株) 理事



【日時】平成 26 年 9 月 20 日 (土)

【会場】諏訪市文化センター (長野県諏訪市)

【主催】桜蔭会長野支部 【共催】お茶の水学術事業会

【参加費】無料 【参加人数】56 名

「ものづくりの復権」、「女性の活躍」が日本の将来を左右すると大きな関心を寄せられています。

松下電器産業 (現：パナソニック (株)) 洗濯機事業部で女性初の技術職として開発、企画、海外展開など多分野で活躍、またマネジメントとしてのキャリアも重ねられ、現在は、(株) ダスキンの社外取締役を務める藪ゆき子さんを講師にお迎えしました。

長野県は自然環境の豊かさや長寿県として観光や移住などの人気がある一方、清浄な空気・水・勤勉な労働力などを背景とした精密産業の集積地でもあり、ものづくりの伝統息づく地域でもあります。

ソフト産業と違い、製造業は男性中心になりがちな分野です。ものづくりの再生を志向する上では、女性の視点は欠かせません。地域での取り組みや課題意識とも共通するテーマとして「ものづくり」と「女性」を関連づけた講演をお願いしました。

被服学科で学んだ4年間

お茶の水女子大学被服学科に在籍した4年間を、女性としてどう生きるかの基礎を作った時期と評されたのが印象的でした。また、地域の参加者からは、花嫁修業として裁縫を習う所というようなイメージがあったのか、「被服=理系」で科学的検証を行う実験に明け暮れるお話に大いに驚かれたとの声を聞きました。

使い手の視点で家電を開発

卒業後は、松下電器産業に就職し、洗濯機を始め多くの家電製品の開発に携わり、使い手の視点に立った製品開発という当

たり前のようで当たり前ではなかったことを実現されました。

家電の「使い手」とは開発当初が専業主婦でしたが、時代とともに、性別の限定が無くなり、また、時間短縮とか洗浄効率などの数値的目標ではなく、使いやすさ、衣類を傷めないなどの使い勝手の追求が求められるようになります。ここで使い手の視点、女性の視点が開発のカギとなりました。結果として、男性にも、子どもにも、障がいを持つ方にも、文化や生活様式の違う他国の市場にもユニバーサルな対応が可能となったのです。

多様性こそが欠かせない

男性、女性に特性があるのは当然。それぞれに長所・短所があり、個人差もあります。ぶつかることも当然。それを互いが理解し尊重し、共通のゴールを持ち可視化することで、より良い成果が得られる、多様性こそが新しいものづくりに欠かせないのだと指摘されました。

男女雇用機会均等法の成立前夜、今でも不十分な、女性が活躍するための支援が、その必要性を認知され難かった時期に、便利な家電、ご家族を始め、多くの方々に支えられて、キャリアでも家庭でも奮闘されたお話は、多くの女性に勇気を与えるものでした。

まずはやってみる、それから考える

女性の意識変革も必要ですが、見えない壁を超えるためには、やる前からできない理由を並べ立てるのではなく、まずはやってみる、それから課題があったら考える、というスタンスが大切であることを教えていただきました。

(桜蔭会長野支部 講演会実行委員長 有賀ゆかり)

事業報告(共催講演会)

桜蔭会岡山支部

「女性のしなやかさで、未来をつくる



～ふるさと岡山・倉敷が育んだ子連れスタイル～」



講師 光畑 由佳 氏 有限会社モーハウス代表



S18年卒の桜蔭会員と光畑氏

- 【日時】平成26年10月18日(土)
- 【会場】倉敷市立美術館3階講堂(岡山県倉敷市)
- 【主催】桜蔭会岡山支部 【共催】お茶の水学術事業会
- 【後援】倉敷市/岡山県立倉敷南高等学校/倉敷商工会議所/山陽新聞社
- 【参加費】無料 【参加人数】約100名

授乳服の開発と子連れ出勤

光畑由佳氏のご実家は、大原美術館に通じるJR倉敷駅前商店街の老舗陶器店である。きびきびと働かれるお母様の傍らに育つ。現在はつくば市にお住まいで、おかやま観光特使・倉敷ふるさと大使の任にも当たっておられる。電車内での授乳体験に触発され、1997年、日本で初めての授乳服を開発、そのデザイン・製作・販売をする有限会社モーハウスを起業。ここでは、自宅で共に試作しあったママ友達がスタッフとなり、「子連れ出勤」のワークスタイルが誕生する。子どもが泣き出す前に、1秒で授乳できるツールとしての機能性、肌触り・耐久性等の品質、おしゃれ感覚とユニバーサルデザインのファッション性—この授乳服が、授乳期の母親は外出を我慢するのが当たり前という社会通念から女性たちを解放する。子供にとって母乳は大切、ママとベビーはいつも一緒、職場に子供がいてもよいではないかと、光畑氏は女性たちに希望と喜びと励ましを発信し続ける。

女性ばかりではない、子連れ出勤や授乳ショー・授乳パレード等、光畑氏のしなやかなアイデアと提案に、中小企業家団体や起業家の研修会では、男性たちが熱心に耳を傾ける。「女性の発想を取り入れよう!」という時代の要請に、光畑氏が細やかに応えているという実感を持つ。

ルーツは倉敷商店街に

働く女性が多い商店街で育ったことが自分の思考の根っこにある、と光畑氏は言われる。

今回は特にふるさと倉敷への愛着と励ましを語られた。そこには、「子連れ出勤」のルーツもうかがわれて興味深い。

「小さな会社を応援したいというのが原点です。なぜ一生涯

命になるかといえば、私が商店で育ったから。倉敷の美観地区のそばで、町は賑やかでした。町の人たちに、いつも元気でいて欲しいのです」「家族皆で店の仕事をし、母親が忙しいと思えば、子どもは邪魔をしません」「学校から帰ると、近くの図書館に走って通いました。2軒向こうが書店で、そこも私の居場所でした」「家でケーキを焼いてくれるお母さん。こんなお母さんもあるのか—と知ったのは、小学校の友達の家遊びに行った時でした。でも、好きなお菓子を自分で買って食べるのも楽しいよと、その友達をうらやましいとはちっとも思わなかった。

光畑氏の講演会が、市内で一般に向けて開かれたのは今回が初めてで、倉敷市長・伊東香織氏も出席を快諾してくださっていた。しかし、「日本女性会議2015倉敷」のPRのため、今年の札幌大会に参加されることになりやむなく欠席。講演会は市長から託された、爽やかなメッセージを代読して開会。会場には生後2か月を初めとする赤ちゃん連れの方が何人もいらしたけれど、さすがのママさんたち、上手な手際で泣かせることなく、会場は終始、和やかに進行した。

講演の後には、光畑氏の母校、岡山県立倉敷南高校校長・山下陽子氏にショートスピーチをお願いしていた。山下氏は、「倉敷『町衆』精神を育む～地域をプロデュースできる人材育成事業～」というプロジェクトに、学校を挙げて取り組んでおられる。もともと天領であった倉敷は、町衆こそ、地域の自治や文化の担い手であったのだ。町衆の血筋に連なり、いま海外にも活動を拡げておられる光畑氏は、期せずして、この路線を歩む母校の先達でいらしたと言えよう。

授乳服試着のミニショー、希望者参加の記念撮影で散会。

アンケートには、たくさんの感動が書かれていた。お世話になった皆さまに、心からの感謝を捧げたい。

(桜蔭会岡山支部長 室賀昭子)



お茶の水女子大学 イベント情報

2015年1月以降に開催される各種イベントのお知らせです。詳細は、各主催者にお問い合わせください。

期日	イベント・講座名	参加費	備考
2015年 1月13日(火)～ 3月31日(火) (予定)	第33回 附属図書館企画展示 「女子教育の黎明期にタイムトリップ！」 お茶大創立140周年記念展示「昭憲皇太后と 中村正直」	無料	【会場】附属図書館1階キャリアカフェ横 【主催】お茶の水女子大学附属図書館 【詳細】附属図書館のHP「企画展示」をご覧ください。 http://www.lib.ocha.ac.jp/tenji/tenji_top.html 【お問合せ】E-mail: lib-tenji@cc.ocha.ac.jp
2015年 2月19日(木) ～20日(金)	第77回 教育実際指導研究会 公開学習指導、協議会、課題別協議会、教科別協議会 講演(講演は両日も14:50～16:00 会場: 徹音堂) ◆2月19日「伝承としての学び」 講師: 姜 尚中 先生 (聖学院大学学長) ◆2月20日「教育を考える」 講師: 安藤 忠雄 先生 (建築家)	4,000円 学生 2,000円	【会場】お茶の水女子大学附属小学校 【主催】お茶の水女子大学附属小学校 NPO法人お茶の水児童教育研究会 【詳細】 http://www.fs.ocha.ac.jp/ から「2次案内」の ページをご覧ください。 【お申込み】 http://www.npo-ocha-fs.jp/koukai.html 事前受付フォームからお申し込みください。 当日申込みはできません。
2015年6月6日(土) 13:15～15:15	桜化会 OUCA 主催 公開講演会 「東日本大震災を機に変わった私の人生」 講師: 伊藤 朋子 氏 (S56 院修) テクニカルライター NPO 法人かながわ 311 ネットワーク 代表理事 「官僚と民間—そのミッションとパッション—」 講師: 小山 珠美 氏 (S62 院修) 昭和電工株式会社 安全性試験センター センター長	無料	【会場】お茶の水女子大学理学部3号館 701 室 【お問合せ】桜化会 OUCA 〒112-8610 東京都文京区大塚 2-1-1 お茶の水女子大学理学部化学教室内 E-mail: ouca@cc.ocha.ac.jp Fax: 03-5978-5290 URL: http://www.sci.ocha.ac.jp/chemHP/ouca/
2015年4月～8月 (前期開講)	知の市場公開講座 公開講座ネットワークである知の市場は2015年度に全国35 拠点で70科目を開講します。放送大学文京学習センターに おいて、2015年度前期に開講する8科目はUT136(規範科 学事例研究1)、UT137(化学物質総合経営学事例研究1)、 UT133(化学物質総合経営学概論)、UT551(知的財産権論)、 UT115a(化学物質リスク評価(演習1))、UT425(労働衛生管 理)、UT812(プロフェSSIONAL論)、UT457(サステイナビリ ティ学(演習))です。 (詳細は知の市場 HP・ http://www.chinoichiba.org/ 参照)	無料	【会場】放送大学文京学習センター(東京メトロ茗荷谷 駅から徒歩2分) 【主催】東京・知の市場(お茶の水女子大学 ライフワ ールド・ウオッチセンター事務局) 【募集】前期の受講者募集は2015年2月1日から開始 【受講応募申込み】 ①受講者登録: http://www.chinoichiba.org/ から登録 してください。 ②科目応募申込: http://www.chinoichiba.org/lwwchp/ から申込みしてください。 【問合せ】東京・知の市場(お茶大事務局) E-mail: chinoichiba1@gmail.com

お茶の水女子大学創立140年特別展示

「創立140年記念特別展」

2015年にお茶の水女子大学が、開学140年を迎えるに当たり、
本学貴重資料および女性教育者・研究者輩出の歴史を紹介します。

【会場】お茶の水女子大学歴史資料館
(大学本館一階121・136室)

【展示内容】

(歴史資料館1) 121室

主に明治の開学時期(青山千世資料)と、
昭憲皇太后を始めとする皇室との関わりを中
心として、本学に伝わる貴重品を展示していま
す。また、2008年から始まったデジタルアー
カイブズのご紹介コーナーもあります。

(歴史資料館2) 136室

特に女性の学位取得に着目し、女性が研究
者になることが困難であった時勢に、本学が
果たした役割を振り返るとともに、近年力を入
れてきた「グローバルな視点をもってリーダー

シップを発揮できる女性の育成」にかかる教育
改革を概観することで、大学憲章に掲げた「学
ぶ意欲のあるすべての女性にとって、真摯な夢
の実現される場として存在する」本学の理念
実現に向けた取り組みをご紹介します。

【展示期間】2015年1月～12月
※ご見学を希望される方は、特別公開日(11
月29日)を除き、事前に下記までお問い合わ
せください。

【お問い合わせ先】

お茶の水女子大学 図書・情報課 歴史資料館窓口
〒112-8610 東京都文京区大塚 2-1-1
E-mail: shiryo@cc.ocha.ac.jp

* HP もご覧ください。 http://archives.cf.ocha.ac.jp/tenji_ocha140/



【歴史資料館キャラクター・ちせちゃん】

本展示のPRのために誕生した、歴史資
料館とMuSA (Museum Student Assistant)
のイメージキャラクターです。

キャラクターモデルは明治八年の首席入
学生である青山千世。服装は当時明治の女
学生の間に流行した「黄八丈」と「小倉袴」。
展示内の様々な所で活躍していますので、
チェックしてみてください。

夢のつばさ♥プロジェクト

「夢のつばさ♥プロジェクト」は、東日本大震災で親を失った子どもたちを長期にわたって支援することを目的として、お茶の水学術事業会を中心にNPO法人4団体の協力によって進められている事業です。

このプロジェクトは、2011年3月11日に岩手・宮城・福島三県を襲った、あの激甚災害の直後に開始され、以来多くの方から温かいご支援を頂いて、5年目の活動に入ろうとしております。夏冬の長期休みに子どもたちを東京近郊の宿泊施設へ招いて行う夢のつばさキャンプは、受け入れる子どもの数が25名前後という小規模な活動ですが、少しずつ活動の幅を広げて参りました。両親を失った子どもを受け入れたり、配偶者を失って一人で子育てをしている保護者の方たちと、心理カウンセラーや社会人スタッフが懇談する会も実施しています。またこの数年、大学生ボランティアが春と秋に被災現地を訪問して、子どもたちとその保護者の方々と交流するなど、意欲的に支援活動に取り組んで、社会人スタッフたちと連携の良く取れた活発な活動ができるようになっていきます。

2014年度夏キャンプ

- 【実施期間】 2014年8月5日～8日
 【開催地】 (株)ブリヂストン保養所奥多摩園(青梅市)
 【参加内訳】 子ども22名、学生ボランティア40名(途中入替わりを含む)、社会人スタッフ・協力者15名

【主な内容】

8月5日	開会式、アイスブレイクゲーム
8月6日	朝の勉強会、中高生企画(障害物競争)、動画作りワークショップ、音楽会(ジャズトリオ)
8月7日	小学生: 科学技術館、浅草観光(貸切バス) 中高生: 大学訪問、原宿観光
8月8日	(株)ブリヂストン本社訪問、閉会式、写真スライドショー

この夏は岩手県からも新たな参加者がありました。送迎担当スタッフは新幹線で盛岡まで子どもを迎えに参りますが、岩手県内もまだ交通事情が悪く、子どもとその保護者も集合場所の盛岡駅まで2時間以上かかってやってきます。勇気を出して参加してくる子どもたちに、楽しい体験や学びのある企画を用意したいと心を砕いています。

2日目はアニメアーティストのうるまでるび氏に教えていただきながら、実際にパソコンを使って動画作成に取り組みました。夕食後は中野阿貴ジャズトリオの素晴らしい演奏会が催され、子どもたちは日常では味わえない刺激を満喫した様子でした。

最終日には、宿泊施設の提供など、大きな支援を続けてくださっている、(株)ブリヂストンの本社を表敬訪問しました。津谷CEOはじめ役員の皆さまが心から歓迎してくださって、一同感激しつつ帰路につきました。

子どもたちはいつもとても名残を惜しんで帰っていきます。この活動の持つ力に励まされ、スタッフ一同さらに努力を重ねる所存です。皆様の一層のご支援をお願い申し上げます。

(夢のつばさ♥プロジェクト)



障害物競争



動画作り



ジャズ演奏



(株)ブリヂストン訪問

【口座】三井住友銀行 大塚支店(店番号227) 普通 1284200

【名称】特定非営利活動法人お茶の水学術事業会 理事長 平野由紀子(この口座は、夢のつばさ専用口座となっております)でご協力いただける範囲でご寄付賜りますれば幸いです。ご芳名、ご住所(連絡先)を下記までお知らせくださいませ。領収書をお送りいたします(恐れ入りますが、税金控除の対象にはなりませんので、あらかじめご了承ください)。

連絡先: 事務担当 滝澤公子 TEL&FAX: 03-5978-5362 Email: tsubasa@npo-ochanomizu.org

お茶の水学術事業会事務局よりお知らせ

平成27年度「共催・助成金」事業の受付について

お茶の水学術事業会では、定款に定める「教育・研究活動に関する事業」の一環として、以下の事業を行っています。

1. 講演等の共催事業

参加予定人数50名以上の公開講演会に対して、講師のご紹介、謝礼金・交通費の一部助成などを行います。

2. 学術・調査・研究・教育等の活動運営支援事業

教育関係者または団体の行う以下の活動・事業に対して助成金（事業費の2分の1以内、1件につき10万円まで）を支給します。

- (1) 学術・調査・研究・教育等の活動
- (2) 学術関連等の出版事業
- (3) 国内及び海外におけるボランティア活動
- (4) 国際協力研究・教育支援事業
- (5) 保育及び子どもの健全育成のための活動

詳細は、お茶の水学術事業会 HP の「共催・助成金」(<http://www.npo-ochanomizu.org/kyousai.html>) をご覧ください。

【申請方法】

HP から申請用紙をダウンロードしてご記入のうえ、必要書類と併せてメール添付または郵送で、下記までお送りください。

締め切り：2015年5月1日（金）※理事会で審査を行います。

【申請書類の提出・お問合せ】 お茶の水学術事業会事務局

〒112-8610 東京都文京区大塚 2-1-1 お茶の水女子大学理学部 3号館 204
Email : info@npo-ochanomizu.org
TEL : 03-5976-1478 (月～金 10時～16時)

「お茶の水女子大学 E-bookサービス」のご案内

<http://www.lib.ocha.ac.jp/e-book/>



お茶の水女子大学の研究・教育成果としての著作を無料で PDF 閲覧またはダウンロードできます。

Book List

◆『古今和歌六帖全注釈』※

- ① 第一帖 (2012.3) ② 第二帖 (2014.6)

古今和歌六帖輪読会（代表：平野由紀子）著

◆『近世日本の儒教思想—山崎闇斎学派を中心として』(2012.3) ※

高島元洋 編著、大久保紀子、長野美香 著

◆『Java プログラミング入門』(2013.10) ※

伊藤貴之 著

◆『体重管理のためのカード教材

「ベストアドバイザー FOR ダイエット」(2014.1)

赤松利恵、新保みさ、玉浦有紀 作

◆『お茶大 Plone の使い方』1巻・2巻 (2014.3)

石田千晃、青砥早希、五島杏奈 作 / 横山美鶴 イラスト

※ オンデマンド出版による製本版(有料)があります。ご希望の場合には、「オンデマンド出版」のボタンをクリックし、お茶の水学術事業会 HP 内「E-book ご注文フォーム」(<http://www.npo-ochanomizu.org/E-book/>) よりご注文ください (お申込みから納品まで1ヶ月程度かかります)。

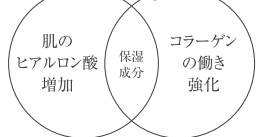
ライフサイエンスから生まれたスキンケア

細胞生物学の最先端研究の中で室伏教授が発見した新成分 cPA (シービーイー) は、あなたの体内のヒアルロン酸を増やして、本来あるべき良好な状態に導きます。

雅Graceは cPA を配合した世界初のスキンケアです。

室伏きみ子 (お茶の水女子大 教授) 監修

新成分
cPA
配合



売り上げの一部は、
大学へ寄附されます

雅Grace 定価 (本体価格)

グレイス化粧水 (150ml)	6,000 円
グレイス乳液 (100ml)	7,000 円
グレイス美容液 (30ml)	9,000 円

※写真は、グレイス化粧水 150mL です。

美しく見える肌ではなく、ほんとうに美しい肌へ。
雅Grace —グレイス—、誕生。

販売元: SANSHO株式会社 TEL 03-5203-0716 WEB <http://c-pa.jp/>

なお、お茶の水学術事業会で、特別価格でお取り扱いをしております。

詳しくは、本会事務局まで お問い合わせください。

E-mail : info@npo-ochanomizu.org TEL & FAX : 03-5976-1478

お茶大ゴルフ 好評発売中!!



ご注文・お問合せは お茶の水学術事業会まで!

TEL&FAX 03-5976-1478

E-mail : info@npo-ochanomizu.org

- 本体価格 600 円 ※消費税・送料が加算されます。
- ※ 会員および大学・附属学校園の卒業生、教職員など、関係者の方には割引があります。
- 6袋 (計12枚) 入
- ばにら・ちよこ・いちご味

編集後記

今年開学 140 周年を迎えるお茶大には「日本で最初の」と付くものが色々あります。大学と附属学校園の校歌である「みがかずば」は日本で最初の校歌。三十一文字 (みそひともし) の校歌は日本で一番短いのですが、日本で一番長く歌い継がれ、その教育理念は今も古びることなく未来へと続いています。すごいことだなと思います。

広告募集

このページに広告を掲載しませんか? 次号は 2015 年 6 月に 2500 部発行予定です。会員の皆様はじめ全国の公共機関などに配布しています。広告料金は、1 回につき 20,000 円。詳しくは下記までお問い合わせください。

事務局

OPEN 月～金 10:00～16:00
〒112-8610 東京都文京区大塚 2-1-1 お茶の水女子大学 理学部 3号館 204
TEL&FAX 03-5976-1478 E-mail : info@npo-ochanomizu.org
<http://www.npo-ochanomizu.org>

※会員の方は、お問合せの際、会員番号をお知らせください。会員番号は封筒の宛名ラベルに印字してあります。



◆事務局所在地
東京都文京区大塚2-1-1
お茶の水女子大学
理学部3号館204

◆交通機関

地下鉄 丸の内線
茗荷谷駅から徒歩7分

地下鉄 有楽町線
護国寺駅から徒歩8分

都バス
大塚2丁目バス停すぐ